

# 薬学部 薬学科 履修系統図(令和5年度入学生から)

**ディプロマポリシー**  
薬学科では所定の単位を修得し、次に掲げる学科の特性を考慮した学科ディプロマポリシーを達成した学生に学位を授与する。  
DP1: 薬学に関する基礎および専門的な知識・技能をバランスよく有している。  
DP2: 問題の発見から解決までの一連のプロセスの中で、必要な情報を収集し、科学的根拠に基づき論理的に考え行動できる。  
DP3: 医療人を目指す者として、人間理解、国際的感覚を養い、相手に寄り添ったコミュニケーションを実施できる。  
DP4: 薬剤師を目指す者として、使命感・倫理観・責任感を養い、他職種との連携を通して薬剤師の役割を理解、実践できる。  
DP5: 保健・医療・福祉について、日本にとどまらず世界の情勢を広く理解し、地域に貢献する姿勢と実践能力を有している。  
DP6: 医療の担い手を目指す者として、幅広い教養と豊かな人間性を育み、生涯にわたって自他ともに研鑽しあえる姿勢および意欲を有している。  
DP7: 生命科学的知識および研究マインドを基に、薬物療法を実践する能力を有している。

**カリキュラムポリシー**  
薬学科では教育目標を達成できるよう、次の方針に則り教育課程を編成・実施する。  
CP1: a. 薬学の専門家として必要な知識・技能を修得するために、講義、演習、実習を相互に関連付けて科目を配置する。  
b. 薬物治療の実践的能力を高めるために、知識・技能を統合した能動的な学習を実施する。  
CP2: a. 問題発見から解決する能力および科学的根拠に基づいた論理的思考力を養うために、問題解決型学習(PBL)をはじめとする能動的な学習を講義、演習、実習で実施する。また、参加型実践的科目として卒業研究を配置する。  
b. 薬剤師としての総合的実践能力を身につけるために、参加型実践的科目である実務実習を行う。  
CP3: a. 薬剤師としてのコミュニケーション能力を養成するために、ロールプレイを含む参加型実習を行う。  
b. 薬剤師の役割を理解するために、他職種との連携教育を実施する。  
CP4: a. 薬剤師としての使命感・倫理観・責任感および豊かな人間性を涵養するために、スモールグループディスカッション(SGD)等を含めた講義、演習、体験実習を配置する。  
b. 国際的な感覚を養うために、世界の保健福祉事情に触れ、語学能力を高める機会を設ける。  
c. 生涯にわたり自ら研鑽できる医療の担い手になるために、ポートフォリオを用いた形成的評価の機会を設ける。  
卒業の成績は、授業参加態度、試験成績評価、レポート評価、課題達成状況などシラバスに記載される到達目標の学習到達度を評価して判断する。

- : ヒューマンズ教育 (AL): アクティブラーニングを含む
- : 医療倫理教育
- : 語学教育
- : 医療安全教育
- : 問題解決能力醸成教育

